3

もっと知りたい 武者小路実篤

実篤と『新しき村』

武者小路実篤が33歳の時、日向（宮崎県）木城村のひなびた土地に開いた『新しき村』は、その後、ダム建設のために農地の大切な部分を失ったこともあり、埼玉県毛呂山町に主力が移りました。そして、今日も営々と活動を続けています。

実篤にとって『新しき村』のいとなみは、生涯をかけ、精魂こめた仕事であり、未来への熱い希望でありました。

一 『新しき村』の出発

実篤は、大正七年に入って「ある国」「新しい生活に入る道」等の文章を発表。かねてから心の中で育ち続けて来た夢が、次第に現実味を帯びて来ます。同年十一月、実篤は彼の理想に共鳴する十数名の同志らと共に、宮崎県児湯郡木城村大字石河内字城の荒れた土地に第一歩を印しました。労働にいそしみつつ、自己を磨き、お互いを生かしあうための共同生活の場『新しき村』の出発です。

二 『新しき村』の精神

「白樺」の活動の中でも実篤は、自己を大切にし、個性を生かし切ることこそ人間の道なのだと主張して来ました。また、彼は「新しき村の精神」という文章の冒頭に「一、全世界の人間が天命を全うし各個人の内にすむ自我を完全に生長させる事を理想とする。」「一、その為に、自己を生かす為に他人の自我を害してはいけない。」と記しました。

都会を捨てて百姓暮らしに打ち込んだ叔父、勘解由小路資承の感化もあったでしょう。一時熱中したトルストイの影響もあったでしょう。また、当時はロシア革命等、政治や社会のあり方を考えさせる事件が国の内外で起こってもいました。

しかし、実篤に『新しき村』の建設を決意させ実行させたものは、人類の意志の存在を信じ、人間を愛する実篤の精神であったと思われます。

三 『新しき村』の生活

最初に木城村大字石河内字城に入った者、実篤夫妻を含め十八名。ほとんど農業の経験のない者ばかりでした。水の便もろくにない所で住居づくり、開墾、種蒔きなど、激しい労働に明け暮れました。翌大正八年には三十二名、つぎの年には三十七名と村人は増えて行きます。食べ物も不自由で、対人関係の悩みもありました。

けれども、実篤の理想に共感して入村した若者たちは、互いに持ち味を発揮し、心豊かな村の実現に努めました。

四 村外会員の協力

実際に村に入って生活する「村内会員」の他に、村の精神に賛成して物心両面の協力をする「村外会員」のきまりがありました。自活に向かって苦闘する「村」を支援するために、「白樺」の仲間をはじめ、さまざまな人が会員となり、各地に支部を作り、講演会や展覧会なども行いました。

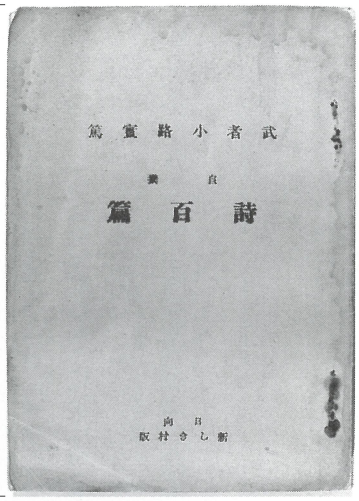
日向（宮崎県）に「新しき村」が生まれた翌大正8年夏。
実篤（後列中央麦藁帽子）と村の人々。

大正14年の「新しき村」（宮崎県）全景。家や合宿所が点々とみえる。

東京支部の村外会員たちが作った有楽町の「村の会場」で自作「だるま」のだるまを演ずる実篤（左／昭和3年）。

五 「村」の文化活動

宮崎の村では、当時は貴重だったクラシック音楽のレコード鑑賞会を開いたり、劇団を組織して九州各地で翻訳劇を上演したりしました。大正十四年には村に印刷所が出来、「村の本」第一篇として実篤の『詩百篇』が、続いて志賀直哉の小説や千家元麿の詩集などが発行されました。これらは日本で最初の「文庫本」でした。



良い本を安く、という実篤の発案で印刷所が作られ、文庫サイズの本を次々に出版。これはその最初の本『詩百篇』。（大正14年9月）

また、村で暮らした人で、後に村を出て、文学、美術、演劇、出版等の分野で活躍した人がたくさんいました。

六 実篤の離村

大正十四年末、実篤は安子夫人と二人の子供と共に「村」を離れました。母親の病気も一つの理由でしたが、文筆活動への情熱と、それによって村の経済を支える必要が、彼の離村を促したのでした。

その後も、実篤の「新しき村」に対する信念と愛情は揺らぐことなく、最後まで、「新しき村」を見守り続けました。

七 「新しき村」の現在

昭和十三年、宮崎の「村」に沿って流れる小丸川のダム建設により、農耕に適した土地のかなりの部分を失うことになりました。このため、埼玉県入間郡毛呂山町に新たに土地を入手、村の主力はこちらに移りました。

今日では、経済的にも自立が達成され、老若数十人の方々が「村の精神」のもと、稲作や養鶏などにいそしんでおられます。平成十年、『新しき村』は創立八十周年を迎え、さまざまな記念行事が行われました。

最近の「新しき村」（埼玉県毛呂山町）。手前はお茶畠、右に立つのは「新しき村」の旗。

発行日／平成12年3月31日初版　平成19年7月24日４版　発行／調布市武者小路実篤記念館　〒182-0003 東京都調布市若葉町1-8-30　TEL.03-3326-0648
企画・編集／調布市武者小路実篤記念館運営事業団　資料撮影／川崎 茂　レイアウト／デザイン室あとりえ
古紙配合率40%再生紙を使用しています